

令和7年度「地域学校協働活動推進事業」（評価・分析）実績報告

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位数	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
池田市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	学校支援ボランティアをはじめとする地域人材の高齢化・固定化	年間約30～50人が学校支援活動を行っているが、人材の固定化が課題となっており、地域と学校それぞれのニーズを把握した上で、両者をマッチングさせることで新たな人材の獲得につなげる必要がある。	地域と学校の橋渡し役として、地域住民等と学校関係者との連絡調整を担う地域学校協働活動推進員を1名以上委嘱する。	地域学校協働活動推進員の配置により、地域人材の獲得やネットワークの構築、地域と学校の協働による新たな取り組みにつながる。	地域学校協働活動推進員の委嘱人数	0	人	1	7	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が挙げられた。 令和6年度に要綱を制定し、地域学校協働活動推進員の委嘱を進めてきたが、推進員の役割についての理解が十分に浸透しているとはいえない状況にあることから、研修会等を開催することで改善を図っていく必要がある。